

2024 年 12 月 19 日

公益社団法人 日本技術士会
正会員、準会員 各位

第 9 回理科実験事例発表大会の発表者募集について

科学技術振興支援委員会

委員長 佐藤 理英

第 2 小委員会委員長 山崎一正

1. 目的

小中高校の児童・生徒を対象とした理科実験支援活動を行ってきた技術士の皆様に、児童・生徒の興味度、理解度、関心度を高める手法について理科教室や理科実験を実演や解説を交えて発表していただく。これにより、現在同様の活動を行っている、あるいは近い将来行おうとする日本技術士会会員の参考にして頂くとともに、理科実験事例を日本技術士会会員の共有情報及び財産として蓄積し、発表者の了解のもとに、種々な場面で活用を図る。

2. 主催：科学技術振興支援委員会

3. 発表日：2025 年 3 月 1 日（土） 13：00～17：00

4. 発表場所

主会場：機械振興会館 6 階 D4 会議室

サブ会場（WEB）：各地域組織の会議室や発表者の都合の良い場所から、Teams を使用したオンラインでの発表。

※サブ会場の手配は、発表者各自でお願いいたします。

5. 発表内容

主に小中高校の児童・生徒を対象にした理科実験※の内容とする。

（※ 理科実験には、フィールドワークや情報処理を含む）

発表頂いた資料は、日本技術士会 Web ページにて公開（聴講申込者にのみ開示）。

半年後には一般公開（※一般公開資料では、一部抜粋など、資料の変更などの要望を伺った上で掲載させていただきます）

6. 発表方法

パワーポイントによる実験内容説明及び解説（実験の実演を含めても良い）

会議室発表を希望される場合、補助者は 2 名以内（補助者は Teams の補助を含む）

7. 理科実験事例発表件数

発表件数は、4～5件（予定）とする。

応募者多数の場合は選考によりお断りすることがあります。

8. 発表会の時間割

後日「第9回理科実験発表大会プログラム」を発表する。

9. 発表者（予定）について

発表者は日本技術士会会員であることを条件とする。

補助者については日本技術士会会員・非会員の資格を問わない。

10. 発表者募集締切日

2025年1月22日（水）までに、別紙「理科実験事例発表大会応募申請書」を以下12項の申込先までメール送付のこと。

11. 発表資料締切日

2025年2月16日（日）までに、以下3項目を12項の申込先までメール送付のこと

○配布用資料、○発表用資料（パワーポイント） ○講師紹介用略歴

12. 問合せ先／申込み先

科学技術振興支援委員会事務局 鈴木 jireitakai#engineer.or.jp（#は@に置き換えて下さい）

13. 謝金（交通費、材料費、教材費、資料作成費等含む）

講師（¥10,000円）、補助者（¥5,000円）

※オンライン参加と会場参加のいずれの場合も同額とする

13. その他

本事業は広報委員会によりプレスリリースされ（PR TIMESを使用します）、マスコミに紹介される場合があります。

以上